

第10回シンポジウム

新型 コロナウイルス感染症克服に 動物実験が果たす役割

Zoomによる
オンライン開催

日時 2022年 **4月16日** 土
13:00 ~ 16:30

場所 WEB開催

参加費 会員2,000円、非会員4,000円

申し込み方法 以下のフォームよりお申し込みください

<https://sympo.adthree.net/npo2022/>

【主催】NPO法人動物実験関係者連絡協議会

【後援】公益社団法人 日本実験動物学会、公益社団法人 日本実験動物協会、一般社団法人 日本実験動物技術者協会、一般社団法人 日本生理学会、日本実験動物協同組合、日本神経科学学会、日本製薬工業協会

プログラム

総合司会 伊藤 豊志雄 動連協 理事、実験動物中央研究所

13:00 - 13:10 開会の挨拶 板東 武彦 動連協 理事長、新潟大学名誉教授

座長 久和 茂 動連協 理事、東京大学大学院農学生命科学研究科 教授

13:10 - 13:55 新型コロナウイルス感染症：
これまでにわかったこと 河岡 義裕 国立国際医療研究センター 国際ウイルス感染症研究センター長
東京大学医科学研究所 特任教授

13:55 - 14:40 新型コロナウイルス感染症の抗ウイルス薬
(およびワクチン)の開発と動物実験 佐藤 彰彦 北海道大学人獣共通感染症国際共同研究所 客員教授、
塩野義製薬(株) 主席研究員

14:40 - 14:50 休憩

座長 塩谷 恭子 国立循環器病研究センター研究所 動物実験管理室

14:50 - 15:35 動物モデルを用いた新型コロナウイルス
ワクチン開発 中神 啓徳 大阪大学大学院医学系研究科健康発達医学
寄附講座教授

15:35 - 16:20 新型コロナウイルス対応について
～自身の経験をもとに～ 川越 匡洋 厚生労働省健康局 結核感染症課
(新型コロナウイルス感染症対策本部兼務)

16:20 - 16:30 閉会の辞 浦野 徹 動連協 副理事長、生理学研究所 特命教授

